

# 格差と階級の固定化

学力：年収多い世帯の子供ほど高い傾向：文科省委託研究

年収200万円以上の世帯と1200万円以上の世帯では、

昨年の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の平均正答率（小6国語B、算数B）に約23・3ポイントの差があることが、文部科学省の委託調査で分かった。

文科省の委託を受けた耳塚寛明・お茶の水女子大教授らの研究グループが、昨年12

月～今年2月に全国の5政令市の小学校100校を対象に保護者約5800人にアンケートし、昨年4月のテスト結果との関係調べた。

調査によると、基礎問題（A）と活用問題（B）のいずれも、年収が高い世帯の子供ほど正答率が高い傾向があった。最も差がついたのは算数Bで、200万円未満の世帯は42・6%、200万円台は45・7%に対し、120万円以上1500万円未満は65・9%、1500万円以上も65・6%に達した。

耳塚教授は「家計だけが学力を決めるわけではないが、影響力は相当大きい」と分析する。

人が「国家の宝」基本です。国家は国民の質、水準です。

格差社会の固定化は、ひ孫末代まで年収300万円以下。

私は米国のような国に住みたくありません。町民文化が花開いた豊かな時代が日本の歴史にあります。

我が街も、明日は地方のスラム街です。冗談では済まされません。

## 自公破れて山河あい

与党に権力の私物化・奢りは無かったか。先に「我が党であればブタでも投票する」とコラムに書いた。上から目線の総理は庶民に百害をもたらすものです。

北陸新幹線は当時の野中広務幹事長から「えひめ丸事件」での詰め腹や、地元には無様なシャッター街を創出した。

私は当時上京しても石川県民と、本当に恥ずかしく名乗ることが出来なかった。当時から官僚支配の奢り体

質を与党は克服できなかった。同じ穴の何とかです。とも言える立場にない。そもそも能力は、財務官僚に見抜かれていたのです。

関ヶ原・開国・敗戦・今回の市民革命、日本の歴史を皆さんと共に同時代に立ち会うことが出来て感謝致します。

これから激動の世界史、東アジアの日本が、急がれます。

中国のポチはもう結構だ。



(有)西川経営オフィスサービス  
中村会計  
事務所便り  
2009年8月31日 (月) N057  
地域から明るい未来を作ろう

塾や習い事など学校外教育への支出額と学力にも相関があり、全く支出のない世帯は、月5万円以上支出する世帯と比較して正答率が23～27ポイント低かった。

また、親自身の普段の行動を尋ねたところ、高学力層では「クラシック音楽のコンサートに行く」「お菓子を手作りする」などの回答割合が高く、低学力層では「パチンコ・競馬・競輪に行く」「カラオケに行く」などの回答割合が高かった。

## 東アジア経済圏

民主党の鳩山由紀夫代表は8月27日付の米紙ニューヨーク・タイムズ（電子版）などに「日本の新しい道」と題する論文を寄稿した。鳩山氏は「友愛の概念から生まれる国家目標は東アジア

う。（自演）日本の9・11は当然、覚悟をしなければならぬ。建国以来、あの国はこれからも、ヤクザ以上の暴力、血に汚れた男達の国だ。

共同体の創造だ」としたうえで、地域通貨の統合を目指す考えを強調した。これに対して基軸通貨の危機米国は、あらゆる手だてを抗するだろ

これまで、鳩山氏は外交・安全保障政策を巡って発言が揺れている。例えば、日米間で核兵器搭載の米艦船の寄港を黙認する密約を交わしたと

の慎重姿勢が後退の「検討」に変わった。しかし、なんとしたも後三年、国家のため小沢氏は守らなければならぬと思う。